



TITLE:

編集後記 (泌尿器科紀要 第20巻第
8号)・購読要項・投稿内規

AUTHOR(S):

CITATION:

編集後記 (泌尿器科紀要 第20巻第8号)・購読要項・投稿内規. 泌尿器科
紀要 1974, 20(8): 556-556

ISSUE DATE:

1974-08

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/121692>

RIGHT:

編 集 後 記

9月下旬より10月初旬にかけて、代表的なマンモス学会である日本腎臓学会、日本癌学会の総会に出席した。腎臓学会は341題（4会場）、癌学会はなんと734題（5会場）の一般演題であった。興味ある講演を聞くためには、前もって時刻表をつくる必要がある。まさに情報過剰時代。嗚呼。（O.Y.）

購 読 要 項

1. 発行は毎月（年12回）とし、年間購読者を会員とします。
2. 会員は年間予約購読料3,000円（送料とも）前納していただきます。
分売は原則としていたしません。払込みは振替に限ります。口座番号 京都4772番 泌尿器科紀要編集部宛。外国は送料とも年間15ドルです。
3. 入会は氏名（フリガナ）、住所（雑誌郵送先）、勤務先をご記入のうえ編集部あて、はがきにてお申し込みください。

投 稿 内 規（1969年1月改正）

1. 原稿の種類は綜説、原著、臨床報告、その他。和文または英文とします。
2. 原稿の長さは制限しませんが簡潔に願います。
3. 和文原稿は400字詰原稿用紙横書きとし、当用漢字、平かな、現代かなづかいを用い、片かなには「」を要しません。表、図の説明はなるべく英文にしてください。文中欧語学術用語は固有名詞、記号以外はキャピタルではじめる必要はありません。必ず英文抄録をつけ、これには英文の表題、所属機関名、ローマ字著者名も記入しておいてください。
英文抄録は詳細なものを歓迎します。ご希望の場合は当編集部にて作成しますので、抄録用の和文原稿を別につけて下さい。翻訳の実費は申し受けます。
4. 英文原稿の場合はタイプで2行の間隔をあげ、和文表題と和文抄録をつけてください。
5. 数字はすべて算用数字を使用し、数量の単位はm, cm, mm, cc, ml, kg, g, mg, °C, μ, %, pHなどを使用し、は不用です。またBUN IVP NPN PSP TURなども、を要しません。
6. 表、図、写真などはすべて別紙とし、説明は和文、英文を問わずTable 1, Fig. 2等としてください。
7. 文献の書式は次のようにしてください。
 - A 雑誌の場合 著者名：誌名、巻数：頁数、西暦年次。（論文題名は自由です）
 - 例 1) 酒徳治三郎：臨床泌尿器科学 p.175, 加藤篤二編, 南江堂, 東京・京都, 1971.
 - 2) Lazarus, J. A.: J. Urol., 45: 527, 1941.
 文献名は正式略称を用いてください。
例：日泌尿会誌, 臨床皮泌, 皮と泌, 泌尿紀要, 臨泌; J. Urol., Invest. Urol., Zschr. Urol. 等。
 - B 単行本の場合 著者氏名：書名、版数, Vol. 数, p. 数, 発行所, 出版地, 年次。
 - 例 1) 加藤篤二：日本泌尿器科全書。Vol. 5, p. 175, 金原出版 & 南江堂, 東京, 1960.
 - 2) Dean, A. L. & Dean, A. L., Jr.: Urology edit. by Campbell, M. F. 2nd edit., p. 1229, W. B. Saunders Co., Philadelphia, 1963.
8. 校正は初校のみ著者にもお願いし、再校以降は編集部のみがおこないます。著者複数の場合、校正責任者をお示しください。
9. 原稿は最終的にご希望があれば返却いたします。
10. 原稿到達日を受付日とし、予約による受付はいたしません。
11. 原稿送り先は、606 京都市左京区聖護院 京大病院 泌尿器科紀要編集部、書留便。

泌尿器科紀要 第20巻 第7号	1974年8月25日 印刷	1974年8月31日 発行
創刊 稲田 務 顧問 加藤 篤二		定価 500円(送料別)
発行 吉田 修		発行所 泌尿器科紀要編集部
606 京都市左京区聖護院川原町54 京都大学医学部泌尿器科学教室内 電話(075)751-3327(直通)		
印刷所 山代印刷株式会社 京都市上京区寺之内通小川西入		
